

1人1台端末について

県立高校「1人1台端末」の故障対応について

1 故障等台数（令和6年2月26日時点）

故障等台数 (調達数16,500台に対する比率)	故障等台数のうちバッテリー膨張 (調達数16,500台に対する比率)	不足数
9,027 (54.7%)	6,198 (37.6%)	7,374

※ 故障等台数には、バッテリー駆動時間1時間未満の端末(1,358台)を含む。

2 県立学校におけるタブレット端末の検証・追加調達・更新方針

(令和6年2月13日 緊急 教育DX加速化委員会)

- タブレット端末のバッテリーの駆動時間を確保するため、常駐ソフトウェアの利用制限や外部バッテリーの利用可否について、速やかに検証を行うこと。
- タブレット端末を追加調達する予定の「6,500台」の3分の2に当たる「4,000台（Windows OS：2,000台Chrome OS：2,000台）」を限度とし、緊急に調達を行うこと。
- 現在のバッテリーに不安のあるタブレット端末については、前倒しで更新を検討する必要があるため、次期端末への更新については、選定プロセスを早急に作成し、次回委員会に提示すること。

3 県立高校におけるタブレット端末の次期端末への更新に関する選定プロセス（資料2）

(令和6年2月27日 第6回 教育DX加速化委員会)

県立高校におけるタブレット端末の 次期端末への更新に関する選定プロセス

◆調達台数及び期間

令和6年度中に調達手続きを開始し、複数年度に分けて段階的に調達・導入する

◆当面の調達手続きスケジュール

	次期端末への更新	参考（追加調達：7,000台）
令和6年3月		公告（Windows,Chrome：2,000台ずつ）
4月		Windows1,500台を配備 Chrome1,500台を実証配備
7月	現場教員や、生徒・保護者への意見聴取を行い、現在の課題や、次期端末に対する要望などを各OSを使用している生徒等に話してもらう場を設ける	4,000台納品
8月	3OS事業者によりデモンストレーションの実施 春に実証配備するChrome実証校フィードバック	4,000台端末設定
9月	OSの決定、仕様書の策定	4,000台を学校へ配備
10月	入札に向けた手続き開始	
11月	公告	
令和7年2月	納品	
3月	端末設定	
4月	学校へ配備	

端末更新においては、生徒のほか、現場教員や保護者等の代表者で構成する委員会でOSを選定

継続して現場教員や、生徒・保護者への意見聴取を行い、フィードバックを受けて、改善しながら順次調達を行う。